

第3回安曇野市水道事業運営審議会 会議概要

- 1 審議会名.....平成24年度 第3回水道事業運営審議会
- 2 日 時.....平成24年10月31日(水).....午前9時から午前10時30分まで
- 3 会 場.....安曇野市豊科総合支所.....コミュニティ消防センター
- 4 出席者.....等々力政文委員、飯沼良明委員、望月妃佐枝委員、百瀬重俊委員、
務基和加代委員、萩原賢司委員、窪田朗子委員、平林博委員、望月静美委員
- 5 市側出席者.....宮澤宗弘市長、中野純上下水道部長、井口久登業務課長、古幡光由上水道課長、
水谷茂管理係長、奥村実庶務担当係長
- 6 公開・非公開の別.....公 開.....
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成24年11月7日.....

協 議 事 項 等

(開会) 午前9時

- ・開会 (井口久登業務課長)
- ・委嘱書交付(宮澤宗弘市長)
- ・あいさつ (宮澤宗弘市長)
- ・自己紹介
- ・会長副会長選出
会長に豊科の等々力政文委員、副会長に堀金の窪田朗子委員に決定。
- ・あいさつ (等々力政文会長)

議事① 安曇野市水道事業の経過と課題について

(議事①資料に基づき事務局で説明)

会 長

何か質問等ありますでしょうか。

委 員

明科地域の漏水調査は実施しているのか。

事務局

漏水調査は実施していない。

委 員

水道料金は他市町村と比較してどのようになっているのか。また水道料金の原価はいくらか。

事務局

県内19市中、1ヶ月あたりの使用水量20m³で口径13mmで比較した場合に11番目に安い設定です。

給水原価は1m³あたり180.15円で、供給単価は176.56円です。

委員

明科地域の漏水については、損失などはどのように処理されているのか。

事務局

水を汲み上げている電気代と消毒をする薬品費が損失となり、減価償却等には影響がない。

委員

地域別の使用量はどのくらいか。

事務局

平成23年度決算数値で安曇野市全体で、約13,100,000^m配水されて、そのうち水道料金となったものが約10,078,000^m。有収水量率は76.93%、残りの約23%は漏水や冬期間の水道工事などで凍結防止のため水道水の掛け流しもあり、必ずしも漏水だけではないが、水道料金としてはカウントされていない。地域別では豊科が約3,160,000^m、穂高が約3,403,000^m、三郷が約1,768,000^m、堀金が約917,000^m、明科が約828,000^m。

委員

明科地域の水道料金が高い理由はどのような理由でしょうか。

事務局

町村合併時に水道料金の統一を実施できればよかったが、経営の内容に大きな格差があり統一することができなかった。第一段階として豊科と三郷を統合して事業認可を取得し、第二段階として安曇野市全体で事業認可を取得することとなった。将来的には料金統一をしたいと考えている。

また明科地域は山間部が多くポンプアップするために動力費などの経費も掛かり料金も高くなる。

委員

赤字の事業の穂高事業などはどこから補てんされているのか。

事務局

赤字は単純に積みあがっていき、黒字になった段階で赤字分が減る。赤字があまりにも膨れ上がっていくと料金の値上げということになるが、今の試算で行くと平成27年、28年ころには赤字から黒字に転換する。穂高は国からの借入金があるが返済することによって支払利息が減る。また減価償却費も減ってくることによって黒字に転換する。

委員

水道事業会計は市の一般会計から独立しているということでよいか。また水道事業会計の職員の人件費はどこで負担されているのか。

会長

時期については事務局にお任せということをお願いします。

事務局

水道事業会計は独立しており、職員の人件費も水道事業会計から捻出している。

委員

水道事業全体としてはどれだけの赤字があるのか、また明科の水道料金体系が一番高いが、人口も1万人弱のため一番安い料金体系にした場合にその赤字がどのくらいになるのか。

事務局

次回の際に将来計画を提示する。

会長挨拶の後、閉会。

会議終了 午前10時30分